

====支部だより====

関西支部気象関係合同進路説明会報告

関西支部第38回夏季大学の開催日（2016年8月20日（土））に合わせて、大学で気象学を学びたい高校生や気象の知識を活かした就職を希望する方を対象とした「気象関係合同進路説明会」を実施しました。

前半40分間は、気象関係の進路に関する3つのプレゼンテーションを行いました。1つ目の「気象を学べる関西支部内の大学紹介」（大学教員）では、気象に関係する大学・大学院の一覧表と各研究室の紹介資料を基に、関西支部内で気象が学べる大学・大学院が紹介されました。続く「自然相手の最前線、気象庁業務の紹介」（気象庁職員）では、気象庁が行っている業務や現在取り組んでいる課題が紹介されました。3つ目の「気象の知識を活かせる就職先」（気象予報士会会員）では、大学・大学院卒業後の民間での就職先と就職の現状が紹介されました。

後半20分間は、参加者が大学教員、気象庁職員、気象予報士会会員に直接相談することができる「個別相談会」を実施しました。参加者は希望するブースに座って、前半の一般的なプレゼンテーションでは聞け

なかった詳細な部分について、熱心に質問されていました。

当日配布したアンケートの結果によれば、本説明会への参加総数は11名で、内訳は高校生1名、大学生5名、大学院生2名、不明3名でした。昨年度と同様、高校生よりもむしろ大学生・大学院生の方が多く、卒業・修了後の進路に強い関心を持っていることがうかがえました。特に今年度はその傾向が強く、個別相談会では気象庁職員のいるブースが盛況で、常に相談者で埋まっている状況でした。参加者の中には、広島県や高知県、山形県等の遠方から来られた方もおられ、気象分野の進路情報へのニーズが全国的に潜在していることをうかがわせる機会となりました。

尚、当イベントでの配布資料の作成には、関西支部内の大学関係者や大阪管区気象台の方々、（一社）日本気象予報士会関西支部の方々の多大なご協力を賜りました。ここに厚くお礼申し上げます。

（関西支部）